



## 「手稲歴史講演会」盛会裏に終わる

第 31 回例会は、手稲区との共催で「手稲歴史講演会」として実施しました。

200 人を超える入場者という盛況ぶりで、当会の茂内義雄副会長の司会のもと、次のようなプログラムで会が進められました。

・主催者挨拶

手稲郷土史 研究会会長 國井和夫

手稲区長 小山高史

・講演

手稲と札幌への物資輸送 —— 新川・運河・馬鉄 ——

札幌市文化資料室職員 榎本洋介氏

手稲史を彩る人々 ～ 前田利為侯と千田モトさん

手稲郷土史研究会相談役 野村武雄氏

ていねっていいね！ 映像でたどる手稲区の 20 年

手稲市民部長 樺沢正史氏

・お知らせ

手稲区 20 周年記念事業について

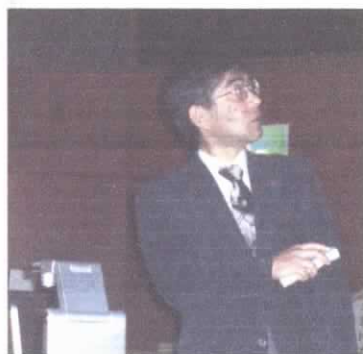
手稲区市民部総務企画課長 三輪潤氏



### 講演会を聴講して

まず、会場いっぱいの聴衆と、手稲区民の歴史への、関心の深さには驚いた。

1 部の榎本洋介先生の「手稲と札幌への物資輸送」には、初めて聞いた方が多いのか、感嘆の声の囁き声が近くの席より聞こえてきた。古地図による説明で、海側の路と、山側の路が古くから出来ていて途中には駅通が所々に有り、サンタルペツ、ホシボキ、などの駅通があったようで興味深く聞きました。また、その 2 本の陸の路、挟んで中を水の路運河が通っていてとのこと、先人たちの構想の壮大さに心打たれました。



2 部の野村武雄先生の「手稲の歴史を彩るひとびと」にはこれも会場の人たちには初耳のことで、感嘆の声が囁かれておりました。特に開講一番「子供盆踊唄」のテープを聞かされ、その経緯の話には、びっくりしていました。また、前田利為侯の悲しい運命の話に戦争の悲劇と、無惨さを感じたのは、私ばかりでなく会場の皆さんも同じ思いであったことでしょう。終わりに、講話時間をもっと取って詳しく

聞きたいとの声のあったことを、付け加えて、講演会を聞いての感想といたします。

[文責：伊澤]

## 熱く、前田利為侯と千田モトさん

### 野村相談役、手稲を彩る人々を語る

第2部に登場した野村氏は、本道バレエ界の大御所として数々の顕彰に輝く千田モトさんから語り始めました。配付された資料に写真が添付されており、「千田モト先生渡満送別 第9回発表舞踊大会記念 昭和11年9月11日 於札幌劇場」とあり、手稲で初公開された貴重な写真。中心に軍服姿の夫・安田行英飛行士、左隣にモトさんが幼児を抱いて着席、教え子ら75人ほどが並んでいます。

写真は、手稲駅前に住む中村キエさん（手稲本町2-3、中村印章店）が保存していました。モトさんの実家が手稲駅前で千田小間物店を開いており、キエさんが幼少時、踊りを習った縁で記念写真の中に加わったといいます。

手稲では、岡田嘉子の恋の逃避行手稲版のようにいわれていましたが、野村氏の精妙な調査で、昭和10年、曙にあった北日本飛行学校の指導教官だった安田氏と結婚、渡満していたことがはっきりしました。

3人のこどもに恵まれた静かな日々でしたが、戦局の暗転とともにモトさんの人生は一変します。軍人の夫は行方不明。その中での一斉引き揚げ令。藤原ていのルポ「流れる星は生きている」そのままに、男児と死別しながら途端の苦しみの中、本道に引き揚げました。

不明の安田飛行士は、軍の極秘指令で満州のラストエンペラー・愛新覺羅溥儀を本土に亡命させるための操縦士に指名されたのですが、皇帝とともにソ連軍の捕虜になり、シベリア送りになっていました。

夫の生死さえわからないモトさんは、独力生きる決意を固め、バレエ一筋に打ち込み、本道での基礎を築き上げました。平成9年、81歳で他界。現在、次女・雅子さんが南区真駒内で札幌舞踊会を主宰、モトさんの遺志が引き継がれています。

また、モトさんは広く知られている「子供盆おどり歌」普及の第1人者だったというエピソードも披露しました。

一方、前田利為（としなり）侯爵は、加賀前田家第16代当主。侯爵だけにその功績はキラ星のごとくあり、独・英大使館駐在武官、国際連盟軍事委員会日本空軍代表、国境策定日本代表などの肩書きが並んでいます。明治44年、のちの大正天皇の前田農場行啓などにもかかわっています。有名な東大の赤門は、前田家のものでした。

大東亜共栄圏構築に突き進んでいた時代でした。が、利為侯はライバルの東条英機と路線をめぐって対立、ボルネオ守備軍司令官に左遷され、昭和17年、戦死します。爵位を持つ軍人で戦死したのは、利為侯ただ1人でした。

この間、昭和10年、前田農場の小作人66人に土地を開放したのをはじめ、11年には手稲山一帯を三菱鉱業に売却、手稲鉱山開削の端緒を作りました。

野村氏は、モトさんの波乱の人生、利為侯の英断があったからこそ、今日の手稲がある——つぎの手稲の歴史を作るのはわれわれの番だと熱く語りました。

[文責：一ノ宮]



#### 鉱山部会の例会と役員会のお知らせ

鉱山部会の次回例会（12月15日）は元札幌市立幌西小学校校長・小山田碩氏を招いて「青春を捧げた手稲鉱山」（戦時中札幌一中生徒たちの勤労奉仕体験談）の講演をしていただく予定です。

例会の後（15時から）は、役員会です。

会場は、手稲区民センター2階 第3会議室

# 先人の使った道具いろいろ



## 【特別寄稿】手稲の歴史について感じたこと

＝ 手稲子供会 シニアリーダーの子供たち ＝

副会長の伊澤敏幸氏が、「手稲子供会 シニアリーダー研修会」で、紙芝居を交えて、手稲の歴史についてお話をしました。それを聞いた児童生徒たちから感想が届けられましたので、紹介します。

### 【手稲の歴史について感じたこと】

- ・手稲にはひみつがいっぱいあっておもしろい。自分の身近なところにひみつがあるかもしれない。
- ・バッタづかのバッタがかawaiiそうだった。
- ・昔の人は畑を作ってもバッタに食べられてたいへんだったなあと思いました。
- ・昔の人はたいへんだったんだなあ～と思いました。自分はこうやって楽に生きられてしあわせだなと思いました。
- ・日本の歴史ならならったけど手稲の歴史はあまりしらなかったし、いろいろな歴史があったのですごいと思った。
- ・手稲には、バッタの大群が来たなど、知らない事ばかりで手稲の歴史に興味を持つことができました。
- ・今まで知らなかったことがたくさんあって、自分達が便利に住めるようになるまでには、たくさんの苦勞があったんだと思いました。
- ・日本の大まかな歴史を知って、日本を知った気分になっていましたが、身近な事を少しもわかっていないことに気づかされました。
- ・自分の家の近くの話聞いて、とても感心しました。
- ・自分の住んでいる所なのに、まったく知らなくて、バッタ塚や山口運河というのも知らなかったので、とても勉強になった。
- ・手稲に住んでいても、知らないことがたくさんあって、少し調べる気になりました。
- ・手稲の歴史はもっと浅いと思ってたから、そんな昔からあるのはびっくりした。
- ・手稲の知らなかったこと、オリンピックの貴重なものなどを見せてくれたり、話してくれたり、ありがとうございました。また、歴史について教えてくれたら嬉しいです。
- ・私たちのために、きちょうな時間ありがとうございます。それにおせんべいおいしかったです。
- ・昔の説明をしながら楽しい紙芝居をしてくれてありがとうございます。今度バッタ塚などに行ってみたいと思います。
- ・あんなに大きな紙芝居はなかなか見るきかいがなく、楽しみながらたくさん学ぶことができました。お忙しい中、わざわざ来ていただいてありがとうございます。
- ・今回は、僕達ジュニアリーダーのために来ていただきましてありがとうございます。普段手稲に住んでいても知らないことがたくさんありました。今度予定があれば山口運河まつりに行きたいと思います。勉強になることをたくさん教えていただきましてありがとうございます。
- ・紙芝居がおもしろくてわかりやすかったです。手稲区自体が開拓されるのがずっと後だと思っていたので、びっくりしました。せんべいおいしかったです。
- ・今回は、私達のために紙芝居をしてくれてありがとうございました。手稲に、飛行場があったり、遺跡があったこと、温泉があったことなど知らなかったことがたくさん知れて、勉強になったし、興味を持つことができました。

